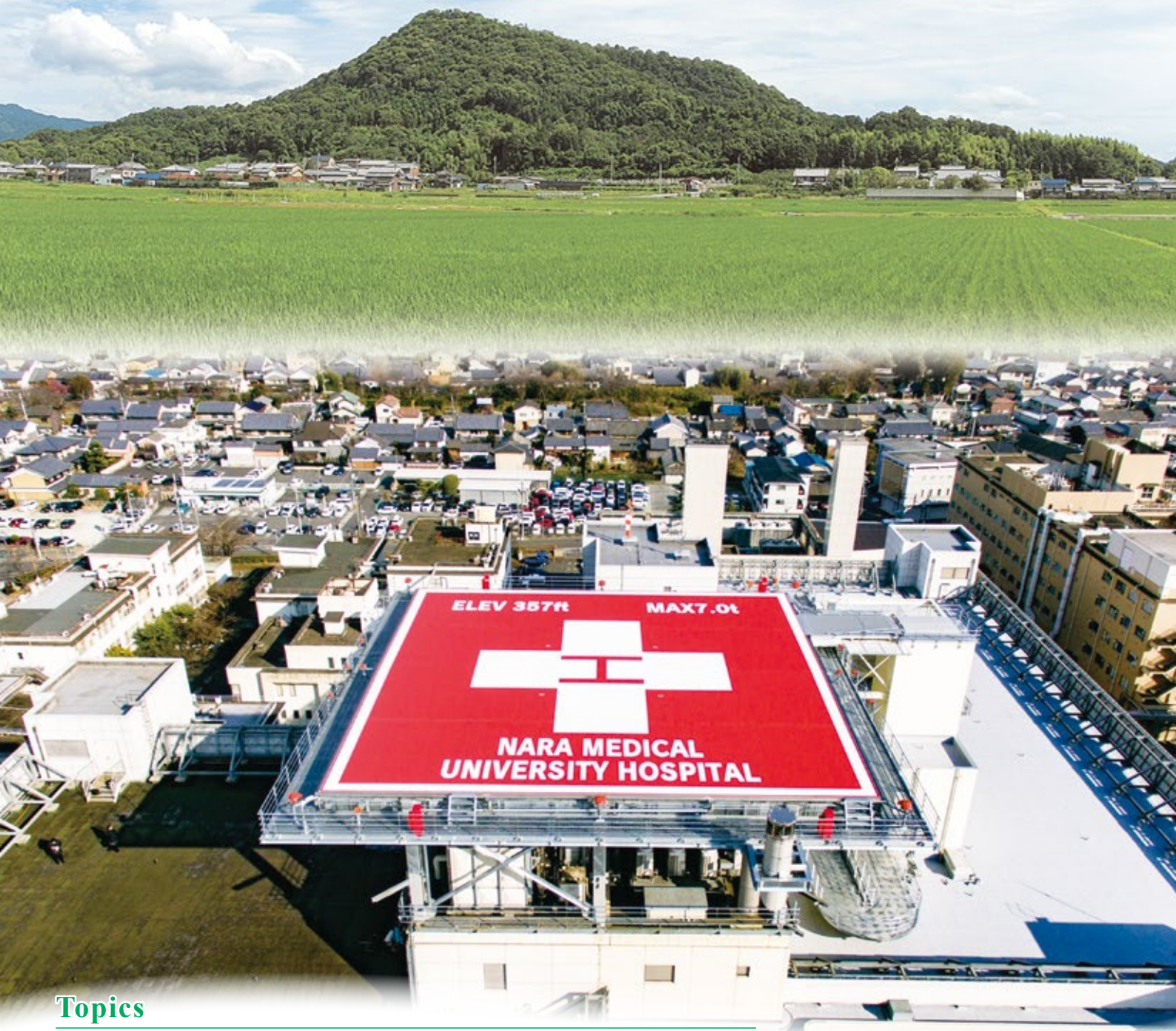


奈良医大 Nara Medical University newsletter

キャンパスだより

2018
vol.7
春号

奈良県立医科大学に関する様々な情報を、地域のみなさまにお届けします



Topics

- ・新キャンパスの整備方針について
- ・屋上ヘリポートの運用を開始しました
- ・放射線治療：切らずになおす最先端のがん治療
- ・奈良県立医科大学のあゆみ

イベントなどのお知らせ

- ・医療・就労・アートをつなぐフォーラム

新キャンパスの整備方針について

本学では教育・研究部門の新キャンパスへの全面移転を行い、現キャンパス内にある附属病院施設の充実を図るといふ考えのもと、平成26年1月、県知事、医大役員等からなる「医大の将来像策定会議」を立ち上げました。その後、約3年の年月をかけ、本学の数十年後のあるべき姿を見定め、未来に向かっての着実な歩みと大きな飛躍のための道標となる「奈良県立医科大学の将来像」を平成29年4月に策定しました。

併せて、最新かつ最高の教育・研究・診療を提供できる大学と病院に生まれ変わる姿として平成29年4月に「キャンパス整備イメージ」を公表しました。

その具体化に向け、現在、新キャンパスの整備基本計画の検討を行っています。基本計画策定後に基本設計・実施設計を行い、計画を更に現実味のある姿とし、造成工事・建築工事を経て新キャンパスの整備を完了する予定です。

基本計画の検討にあたりましては、奈良県との協議・情報共有に努めてまいりましたところ、この度奈良県において今後の整備方針が示されましたので、皆様にお知らせいたします。

先行整備と継続整備

県にとって大規模投資となるキャンパス整備を進めるにあたり、老朽化が著しい教養教育部門及び看護学科の施設を先行して整備することとなりました。整備過程を大きく2つに分け、「先行整備」と「継続整備」とし、「先行整備」の内容は以下のとおりです。

- ① 教養教育部門・看護学科（医学科1年・看護学科1～4年）が学ぶ施設を新キャンパスに整備し、移転を行います。学生・教員等の安全を確保します。
- ② 来院者の利便性の向上を目指し、周辺交通の渋滞原因にもなっている患者用駐車場を、現キャンパスの移転跡地に整備します。

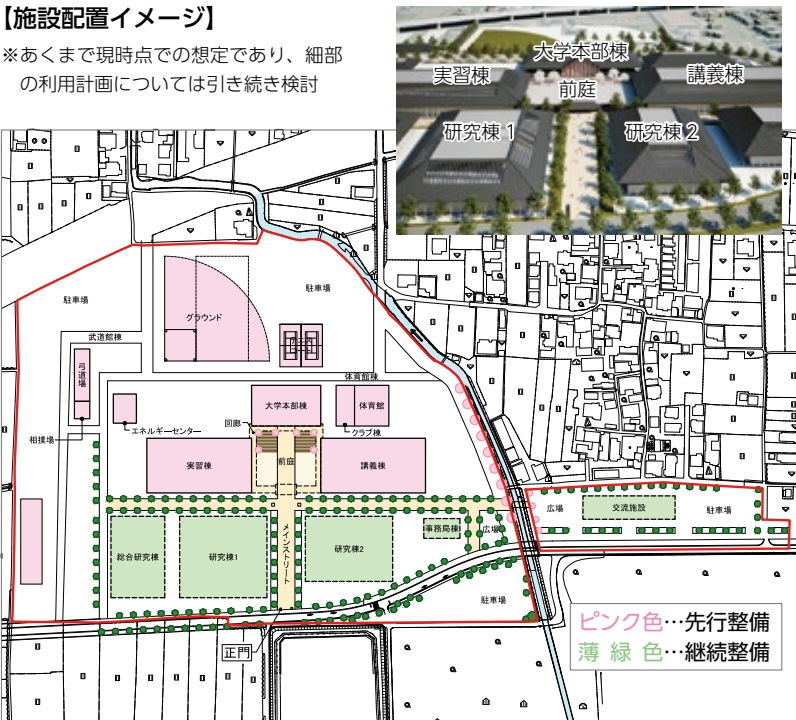
医大新キャンパスの移転整備

【整備コンセプト】

- 藤原京をモチーフとして、奈良への愛着を醸成し、奈良県立医科大学ならではの医学教育を実践する場にふさわしい姿を具体化
- 現在老朽化が著しい教養教育部門及び看護学科の施設を先行して整備

【施設配置イメージ】

※あくまで現時点での想定であり、細部の利用計画については引き続き検討

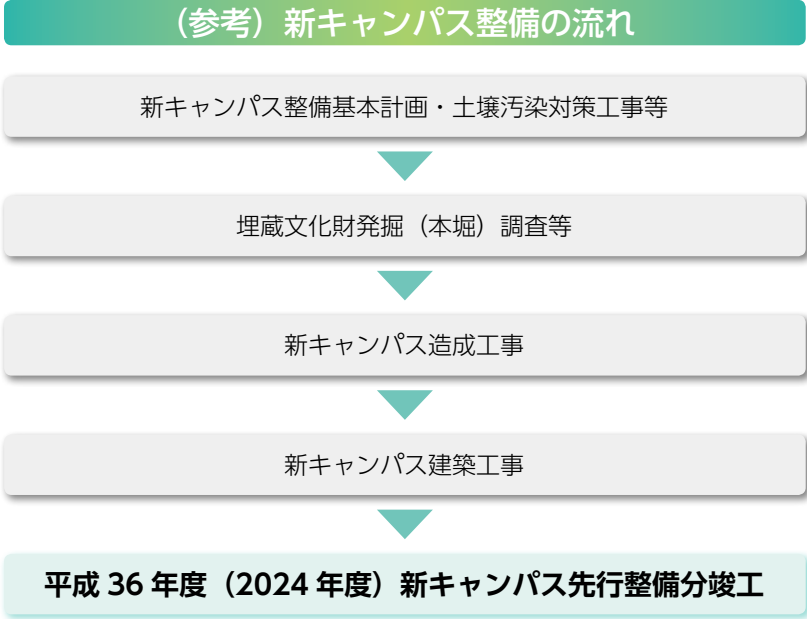


【スケジュール】

平成 29～30 年度	基本計画策定
平成 31 年度～	都市計画決定、文化財本掘調査 造成設計・工事 建築設計・工事（先行整備分）
平成 36 年度中	新キャンパス（先行整備分）竣工

奈良県予算公表資料「平成30年度予算案の要旨」より抜粋

(参考) 新キャンパス整備の流れ



整備された仮設グラウンド

平成36年度中の新キャンパス（先行整備）竣工

現在、新キャンパス敷地では旧農業研究開発センターの解体工事を終え、一部を仮設グラウンドとして整備を行い、学生の授業・クラブ活動に活用しはじめるなど、キャンパス移転に向け動き始めたところです。
今後、新キャンパスの整備を進めるにあたりまして、農地転用、文化財発掘調査、開発許可申請など様々な許認可手続を経たうえ、

造成工事・建築工事に着手し、新キャンパス（先行整備分）竣工は平成36年度中を目指します。

新キャンパスの整備・移転を着実に進めるよう全学一丸となって取り組んでまいります。今後、住民の皆様には、新キャンパスの敷地内に仮設したグラウンドでの学生の活動をはじめ、測量や造成工事などご迷惑をおかけする場合もあると考えられますので、何卒よろしくお願いいたします。

平成30年度新キャンパス整備事業

平成30年度は、次のような作業を計画しております。実施にあたりましては、安全に十分配慮いたしますので、皆様のご理解よろしくお願いいたします。

事業名	概要
新キャンパス施設整備基本計画	動線、ゾーニング、インフラ、建物構成、建物内諸室等を利便性・機能性・環境への配慮の視点から検討し、設計・工事を進める上での根幹となる計画を「奈良県立医科大学新キャンパス施設整備基本計画」として、まとめあげます。
地質調査	新キャンパス敷地における、建築設計及び造成設計の基礎データとして、地盤のボーリング調査を行います。
土壌汚染対策工事	平成28年度の土壌汚染調査において発見された汚染土の除去入替え工事を行います。

屋上ヘリポートの運用を開始しました

附属病院B・C棟の屋上にヘリポートが完成しました。2月26日からドクターヘリの運用を開始しています。

県内では、これまでヘリポートがあつたのは南奈良総合医療センターのみでしたが、本院に続いて、5月に移転開院をした県総合医療センターでもヘリポートが運用されており、本院を基地病院としながら、3病院で機動的なドクターヘリの運用を目指します。

運行にあたりましては、近隣住民の皆様には大変ご迷惑をおかけいたします。県民の救命を第一に考え、安全に十分配慮し運行いたしますので、皆様のご理解・ご協力よろしくお願ひいたします。

ドクターヘリ設置のメリット

【救急患者の受入体制強化】

本院ではこれまで、ドクターヘリ搬送による患者は、近隣の橿原運動公園で降ろし、そこから救急車で10分程度かけてここまで搬送をしていましたが、これからは病院直結で患者を搬送できるので、時間短縮及び傷病者の安全確保（乗せ替えリスクの回避）が可能となります。

ヘリポートの完成にあたり竣工式典及びテープカット式を行いました

ヘリポートの運用に先駆け、2月24日（土）に竣工式典及びテープカット式を行いました。式典には県内市町村長や病院、県、消防の関係者の方々にご出席いただきました。

本学の細井理事長・学長は「直接病院に着陸でき治療を開始できるということは、県民にとってありがたいこと。県の医療への熱意と実行力に感謝します。」と挨拶しました。

来賓の荒井正吾奈良県知事や岩田国夫奈良県議会議長、森下豊橿原市長からは、「これからも県民の期待に応え、医療機関、医療機関として発展してほしい。」などとご祝辞をいただきました。その後、細井理事長・学長や来賓の方々はヘリポートに移動し、テープカットで完成を祝いました。



竣工式典の様子



テープカット式

奈良県ドクターヘリ 運航状況等について

●各保健医療圏の要請件数、ランデブーポイント数

平成 30 年 3 月 31 日時点

🏥ドクターヘリ・ヘリポート設置箇所

奈良保健医療圏

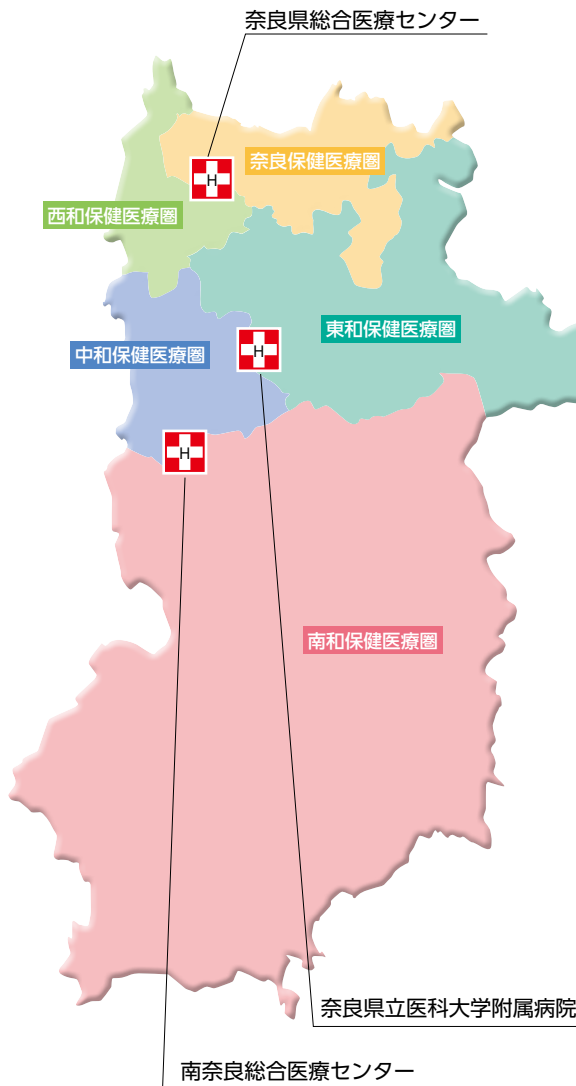
	要請件数	RP 数
奈良市	21	13
計	21	13

西和保健医療圏

	要請件数	RP 数
大和郡山市	13	5
生駒市	3	21
平群町	1	1
三郷町	3	2
斑鳩町	1	2
安堵町	0	0
上牧町	3	1
王寺町	11	2
河合町	5	2
計	40	36

中和保健医療圏

	要請件数	RP 数
大和高田市		3
橿原市	20	2
御所市	5	10
香芝市	9	4
葛城市	1	2
高取町		1
明日香村	2	1
広陵町	9	5
計	46	28



東和保健医療圏

	要請件数	RP 数
天理市	8	7
桜井市	13	19
宇陀市	48	7
山添村	13	7
川西町		5
三宅町	1	1
田原本町	1	10
曽爾村	8	2
御杖村	6	2
計	98	60

南和保健医療圏

	要請件数	RP 数
五條市	40	29
吉野町	22	6
大淀町	9	4
下市町	1	5
黒滝村	6	3
天川村	9	5
野迫川村	3	3
十津川村	74	10
下北山村	1	4
上北山村	6	3
川上村	13	5
東吉野村	11	4
計	195	81

■ 要請件数

計 402 件

- ・現場出勤 324 件
- ・施設間搬送 34 件
- ・離陸後キャンセル 44 件 (うち 2 件は RP 未定のままキャンセル)

■ 搬送先医療機関

- ・奈良県立医科大学附属病院 174 件
- ・南奈良総合医療センター 153 件
- ・奈良県総合医療センター 17 件
- ・その他 12 件

■ 県内

・ランデブーポイント数 218 ヶ所

ドクターヘリの性能等

機種名	エアバス式 EC135
メーカー	エアバスヘリコプターズ
全長×全幅×高さ	12.16m × 10.20m × 3.51m
機種重量	2,980kg
定員	6 名
最大航続距離	約 640km
最大航続時間	約 3 時間
最大巡航速度	約 250km / 時
巡航速度	約 220km / 時

ドクターヘリの概要

【ドクターヘリとは】

- 救急医療用の医療機器などが装備され、救急医療の専門医や看護師が搭乗する専用のヘリコプターです。
- 医師による治療が迅速に開始でき、患者の救命率の向上や後遺症の軽減などが期待されます。

【運航時間】

- 原則として午前 8 時 30 分～日没まで
- 365 日運航 夜間や天候不良時は運航不可

【出動範囲】

- 県内全域 (片道 15 分以内で全県をカバー)

放射線治療…切らずになおす最先端のがん治療

奈良県立医科大学附属病院では、がんを切らずになおす最先端の放射線治療を行っています。放射線治療には、体の外から放射線をあてる外部照射（一般的な放射線治療）と、局所に直接的に放射線をあてる小線源治療があります。奈良医大では、いずれの治療も可能です。

外部照射では、最新型の放射線治療装置リニアック（バリアン製）を3台使用して、毎日多数の患者さんの治療を行っています。画像診断の技術を使って正確に位置をあわせ（画像誘導放射線治療…IGRT）、がんの形に合わせた高精度治療（強度変調放射線治療…IMRT）を実施していますので、治療成績の向上のみでなく、副作用の軽減も期待できます。最先端の体にやさしいがん治療です。通常、毎日10～15分間程度、治療を行います。毎回の放射線治療が熱いとか痛いということはありません。なお、後になって皮膚炎や粘膜炎が出てきますが、治療終了後は徐々に改善します。治療の回数はがんの種類や状況によって異なりますが、数十回程度が一般的です。

小線源治療では、主に前立腺がん、子宮がんなどに対して、放射線が出る小さな線源を使用して直接的に治療しています。やはり、画像診断の技術を使って正確に治療すること

放射線治療装置リニアック

体の外からエックス線をあてて、がんの形に合わせて正確に治療します。種々のがんの治療に使用できます。



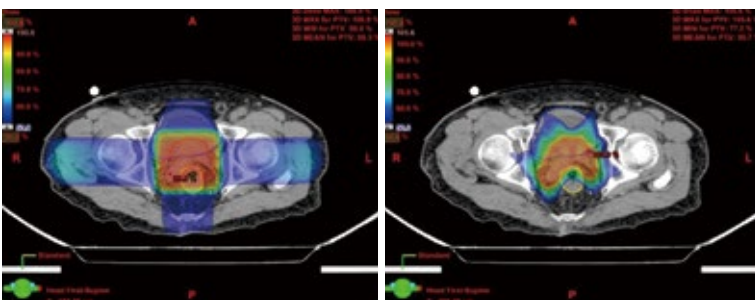
が可能です（画像誘導小線源治療）。放射線治療は、全身のがんの治療に使われています。脳腫瘍、頭頸部がん（口、のど等）、乳がん、肺がん、食道がん、前立腺がん、子宮がん、その他に対してよく行われていますが、がんの脳転移、骨転移にも有効です。ただし、がんの治療法には手術、化学療法、その他もありますので、どの治療法が最も適切かについて、まず主治医とよく相談して下さい。

い。放射線治療は切らずになおす、体にやさしい治療です。手術が無理でも放射線でおこなうこともあります。なお、奈良医大では、定期的にキャンサーボードという検討会を開催して、外科、内科、放射線科、放射線治療科、その他各科の医師が治療方針について真剣に協議しています。

放射線治療室では、専門的な技術を持った放射線治療専門医、放射線技師、医学物理士、看護師、事務員が、日々の治療に対応しています。わからないことがありましたら、遠慮なくお尋ね下さい。

前立腺がんの放射線治療計画

強度変調放射線治療では、前立腺に集中的に放射線をあてることができます。色のついた部分（特に赤い部分）に多くの放射線があたります。



以前の放射線治療

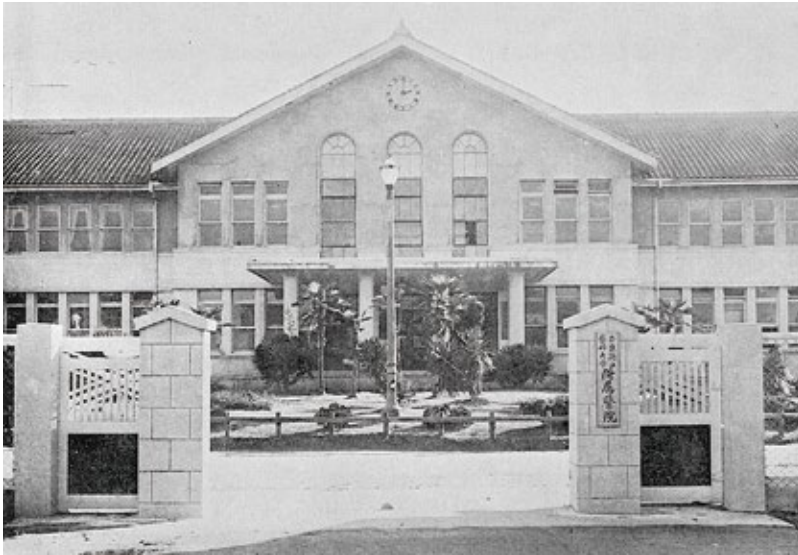
強度変調放射線治療 (IMRT)

『奈良県立医科大学のあゆみ』

「奈良県立医科大学のあゆみ」と題し、昭和20年の開学から現在にいたる本学の歴史を社会の歴史と共に年表にし、附属病院内の

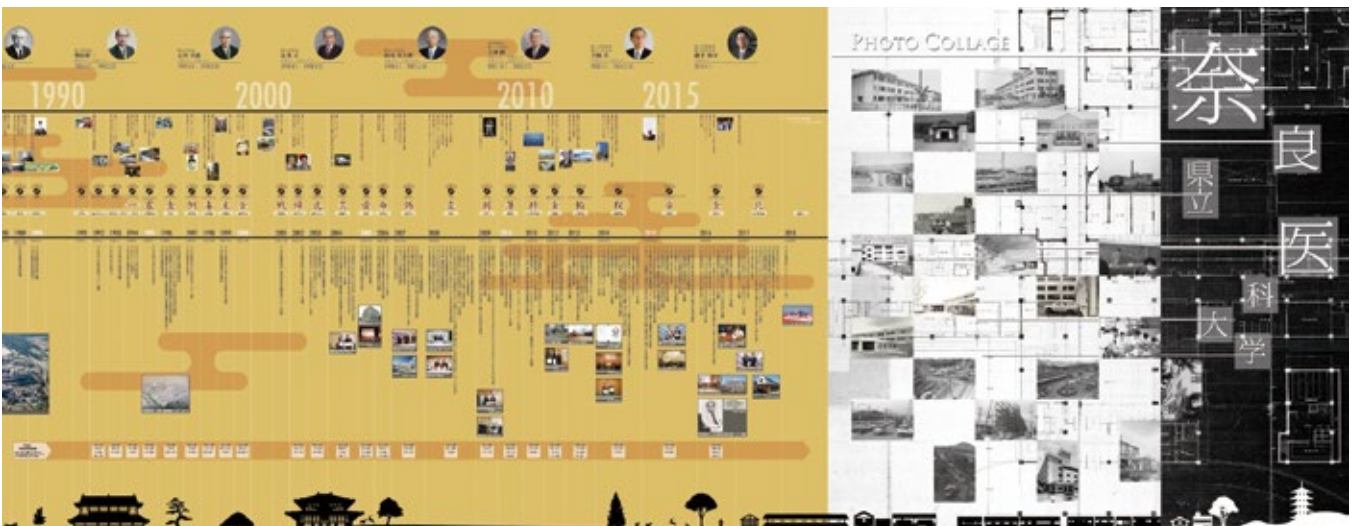


掲示場所：附属病院E棟1階 中央廊下スロープ横



昭和20年当時の奈良県立医科大学

E棟1階中央廊下に展示しました。
 本学は平成27年度に開学70周年を迎え、数年後には新キャンパス移転という大きな転機を迎えます。地域の皆様と歩んできたこれまでの歴史を、教職員のみならず、地域の皆様と共有させていただきたいと考えています。ご来学、ご来院の際には、是非御覧ください。



「奈良県立医科大学のあゆみ」一部抜粋

～地域から信頼され、患者と心が通い合う人間味ある病院をめざして～

医療・就労・アートを つなぐフォーラム

- 2018年9月1日(土) 14時～16時15分
 - 奈良県立医科大学 大講堂 (橿原市四条町 840 近鉄八木西口駅 徒歩 10分)
- 【主催】奈良県立医科大学、奈良県立高等養護学校、NPO 法人ならチャレンジド
【後援】奈良県、奈良県教育委員会、市町村人権・同和問題「啓発連協」

テーマ 医療現場で活躍する特別支援学校生徒、卒業生たち

- 第一部** 司会：県立高等養護学校生徒、医科大学生
- 出演 奈良県立高等養護学校ダンス部
主催者挨拶 古家 仁 奈良県立医科大学附属病院長
来賓挨拶 荒井正吾 奈良県知事(予定)
アピール 岸本亜矢子さん(奈良県立明日香養護学校卒)
奈良県立高等養護学校高円分教室卒業生
作品紹介 奈良県立高等養護学校生徒 他2人



岸本亜矢子さん(明日香養護学校卒)

- 第二部** 進行：NPO 法人ならチャレンジド理事長
- アピール 奈良県立医科大学附属病院の就労者 30人
(タオル折り、検査、環境整備、シュレッター等)
- パネラー 高橋美雪 奈良県立医科大学附属病院副院長・看護部長
岡山弘美 奈良県立医科大学障害者雇用推進マネージャー
石原昌伸 奈良県障害福祉課長
- 閉会挨拶 仲子 宏 奈良県立高等養護学校長



高橋美雪
副院長・看護部長



岡山弘美
障害者雇用推進マネージャー



石原昌伸
県障害福祉課長

奈良県は2年連続で障害者雇用率全国1位です。
奈良県立医科大学および附属病院では、障害のあるスタッフ30人が就労しており、一昨年から「特別支援学校と病院を結ぶ!奈良県立医科大学附属病院アート展」を開催しています。フォーラムにおいて障害のある人の社会参加と就労の核心を探り、全国へ発信します。

〈連絡先〉奈良県立医科大学障害者雇用推進係 ☎ 0744-22-3051 (内線 2140)
NPO 法人ならチャレンジド ☎ 0746-32-3600

「奈良医大キャンパスだより」の内容に関する問い合わせやご意見等ございましたら、右記までご連絡ください。

公立大学法人奈良県立医科大学 キャンパス整備推進室
〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840
TEL 0744-22-3051 (内線 2802, 2804)
Mail kihonkoso@naramed-u.ac.jp